

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室ことのは3号館				公表日	令和 8年 4月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0	部屋を分けて、動や静の環境設定をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0	児童発達支援に関しては、できるだけ1対1で支援ができるよう人数調整を行っています。	建物の構造上、目が届きにくい場所もあるので、利用者が多い日には特に事前に職員の配置する場所・危険な箇所を周知・徹底していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	4	玄関施設錠やベビゲートの設置しています。また、児童が分かりやすいイラスト等で視覚的支援ができる環境を意識しています。	場所によっては破損部分や補正が必要な箇所もあるので、各所に相談し取り組んでいく予定です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	2	定期的に玩具の消毒、修繕等点検を実施しています。	古くなっている玩具やマット等があるので、新たに購入を検討しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0	1.2階それぞれ活動に合わせた個室や大部屋を使用できるように環境調整しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	1	朝・昼・夕のミーティングを行っています。	限られた時間内のミーティングであるため、重要な事から共有し、職員全体で理解して業務改善を行っていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	6	保護者評価でいただいたご意見を職員で共有し、話し合いの中で業務改善に努めています。	保護者評価・事業所評価を通し、優先順位が高いものから業務改善に上げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	職員との面談等で一人一人の意見を把握し業務ミーティングで話し合う時間を設けています。	面談を通して、改善点を全体で共有を継続しさらに業務効率化を図っていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	4		個人での研修は受けてもらっているが、職員全体に向けた研修を实地できていないので、定期的に事業所内でも研修を实地できるような検討します。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	1	教室内玄関への掲示及び保護者へ配布を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	担当者会議での聞き取りや児童に直接聞き取りをし、計画を作成しています。	モニタリングや保護者と面談時に聞き取りを行い反映を継続し、分かりやすい支援計画の作成に努めます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	支援計画書は職員間で共有しています。	今後も共有を継続し、より良い一貫性のある支援ができるよう努めます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	2	ミーティングを実施して、職員間で共通理解するようにしています。	日々の振り返りを行いながら、支援の質の向上を図ります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3	適宜アセスメントシートを使用し確認を行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	2	ガイドラインを参考に支援内容を設定するよう努めています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	日々子ども達の意見を尊重しながら職員間にて活動を検討しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	1	日々子ども達の意見を尊重しながら職員間にて活動を検討しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	児童の状況把握、意見を尊重しながら作成、支援をしています。	児童の状況に応じて活動を組み合わせながら支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	児童来所前に朝礼を行い、役割分担や支援の流れの共有を行っています。	朝礼や昼礼を通して、職員間での共有漏れがないようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	昼礼、終礼を毎日実施し、振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	その日対応した職員が記入や保護者への報告等しています。	日々の記録を継続し、支援の見直し等、記録の活用方法を高めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	半年毎に支援会議に参加することで課題の変化を共有し、職員間で共有を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	1	担当言語聴覚士または、児童発達支援管理責任者が参加する様にしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	5		保育園等の関係機関との連携は行っているが、より多くの関係機関との連携を強化していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	3	適宜、相談員を中心に会議を設定していただき会議をもつようになっています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	3	適宜、相談員を中心に会議を設定していただき会議をもつようになっています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	9		今後連携が図れるようにしていきたいと思いま
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	12		年に1回程の交流なので、次年度は定期的に交流できる場を設けていきたいと考えております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	日々活動の内容等を申し送りして共有し、保護者との共通理解がもてるよう努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	10	必要に応じてや相談があった世帯には個別に対応しています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	2	利用契約時や内容変更時など、適宜説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	2	契約時や定期的なモニタリングの際に意向を伺っています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	2	契約時や更新時に説明を実施しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	1	ご相談があった際は、なるべく迅速に対応するようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	12		今後定期的に保護者同士が交流できる、保護者会やイベント等を開催していけるよう検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	日々の申し送り等の関わりの中で相談を受けた際には、迅速な対応を心がけています。	今後も迅速かつ適応な対応をしていけるよう努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	法人全体のブログ・毎月の事業所便りを、定期的に配信しております。	毎月のお便り、ブログ更新を更に分かりやすい内容でお届けできるよう内容改善に努め継続します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	1		引き続き職員間での共有と確認体制を整え、今まで以上に強化していけるよう努めます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	LINEや直接の申し送りで丁寧な情報共有ができるよう心掛けています。	伝達方法の見直し、工夫をしより分かりやすい支援につなげていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	8		今後、地域の皆さんとの交流が図れる様に検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	教室内にて保管しており、職員間にて共有しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	4	年に2回避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	1	契約時に確認し、必要な対応がないか確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	4	契約時に保護者への聞き取りを行っています。	食物アレルギー対象児はいませんが、今後対象児が居た場合は対応していく予定です。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	2	安全計画を作成しており、定期的に更新・点検を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	3		事業所内に掲示はしておりますが目につきにくい箇所において掲示場所を検討しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	ヒヤリハット発生時には記録に残し会社全体にて共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	4	虐待防止委員会を通じて定期的に研修等を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	5		今後必要に応じて、対応していきます。	